

# 学校評価報告

令和5年度における「学校評価」の実施内容を以下のとおり報告いたします。

## 令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人亀井学園 小松川めぐみ幼稚園

### 1 本園の教育目標

本園は、遊び、友達との関わり、専門講師による造形・体操・音楽・英語指導等を通して、創造性豊かで自主自立心が強く実践力があり、明るく健やかな幼児の育成を教育目標としています。

### 2 本年度重点的に取り組む目標・計画

本年度は、平常保育や年間行事を通して、幼児一人一人の成長につながる教育を実践するとともに、幼児の情操教育の一環として専門講師による造形・体操に重点的に取り組みます。

### 3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組み状況
1 教育目標に基づき教育課程・指導計画を作成し、教職員間で共通理解を深めながら幼児を指導します。また、専門講師による造形・体操指導を通して、創造性・自主自立心・実践力のある幼児を育てます。	4.2	教育目標に基づき教育課程・指導計画を作成することにより、幼児の成長を理解しやすくなりました。また、専門講師による造形・体操指導についても、子どもの主体性をひきだし、自信へとつながるように取り組みました。
2 地震・津波・火災・不審者に対する教職員・幼児の安全対応能力向上のため防災・防犯訓練を実施します。	4.1	防犯訓練や避難訓練を毎月行うことにより、教職員はもとより子どもたち自ら避難できるようになりました。
3 園内・園外研修への参加や課題の解決、教職員同士の話し合いを通じて教職員の資質向上に努めます。	4.5	外部研修や姉妹園との合同研修により、子どもの育ちや保育者としての役割について新たに学ぶことができました。
4 保護者との連携・協力により、年間行事や日々の保育を円滑に進行させ、教育内容の充実を図ります。	4.5	保護者との連携・協力により、コロナにより縮小されていた園行事も見直しを図り実施しました。（運動会、祝会、おもちつき、クッキング等）子どものやってみようという意欲を促す楽しい保育を行いました。
5 特別支援児ごとに指導・支援計画を作成し、関係機関の協力を得ながら特別支援教育内容の充実を図ります。	4.0	保護者、病院、幼稚園でリモートによる話し合いの機会をもちました。食事・運動等の場面で、補助教員を特別に配置し安全に配慮しました。
6 保護者の実情や要望に沿った預かり保育を実施します。	3.7	預かり保育を希望されるご家庭が年々増加する中で、縦の交流を深められる点を意識し、みんなで楽しむ活動を行うことができました。

評価（5：十分に達成 4：達成 3：おおむね達成 2：要努力 1：改善を要する）

### 4 総合的な評価結果

評価	理由
4.2	今年度も幼児一人一人に寄り添った教育を実施することができました。また、専門講師の指導による造形や体操活動を通して豊かな感情を育むことができました。行事も予定通り行うことができ、保護者アンケートからも「たくさん行事が楽しかった」という感想を多くいただきました。

### 5 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
1 預かり保育	増加傾向にある預かり保育の人数に対して、体調管理を十分に配慮しながら、異年齢の子どもが楽しく過ごせるよう配慮していきます。当日の参加人数にも柔軟に対応できるよう、体制を整えます。
2 特別支援教育	支援児の気持ちを考慮し、これまで以上に状況に合わせた適切な援助をしていきます。集団生活を安心して過ごせるよう関係機関とも協力していきます。

### 6 学校関係者評価委員会の評価

明るく健やかな幼児を育てるという教育目標に向けて、先生方は子どものベースにあった、子どものための楽しい行事を考えてくださっていると知ることができました。  
専門講師による作品づくりや体操指導により子どもの体験が広がり、家庭ではみれない成長を実感できました。子どもたちは専科の活動を楽しみながら、好きなことや得意なことを見つけることができていると思います。  
小松川めぐみ幼稚園の先生は、みんなの顔と名前を覚えて声をかけてくださるので、大切に温かく見守られていると安心して預けることができました。